



2020年4月7日  
東日本旅客鉄道株式会社

## 「株式会社えきまちエナジークリエイト」の設立について

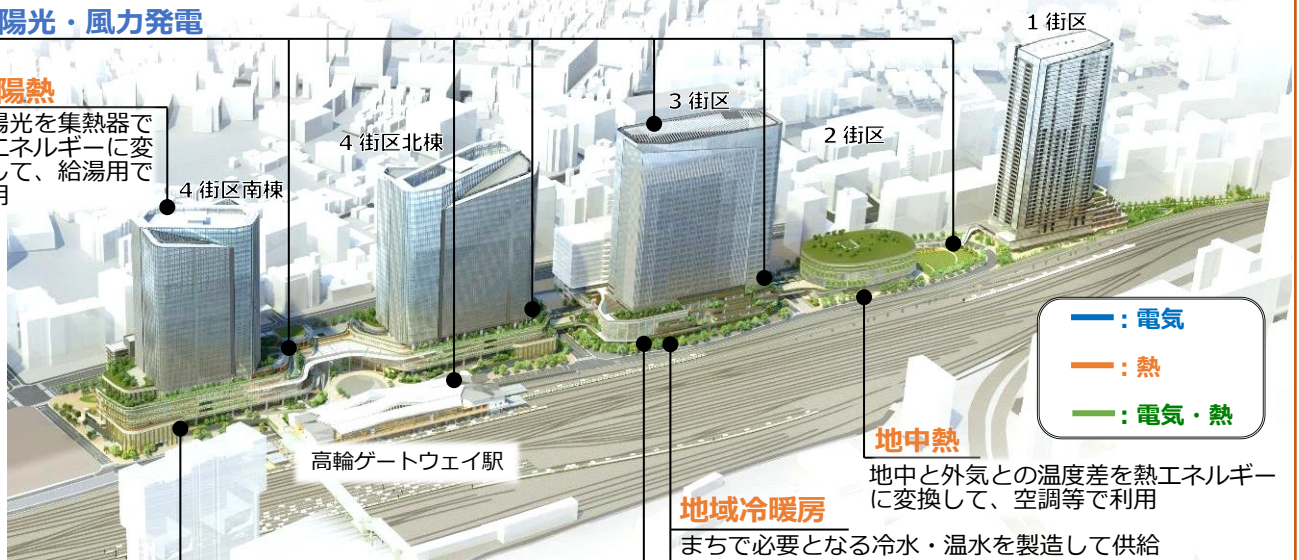
- 東日本旅客鉄道株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：深澤 祐二、以下「JR 東日本」）は、株式会社ジェイアール東日本ビルディング（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：石川 明彦、以下「JEBL」）と、東京ガス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：内田 高史、以下「東京ガス」）とともに、品川開発プロジェクトにおけるエネルギー供給・エネルギーマネジメントを行うことを目的に、本日、「株式会社えきまちエナジークリエイト」を設立しました。
- 品川開発プロジェクトにおいては、先進的な環境・エネルギー技術を取り入れたまちづくりを目指しており、多様な再生可能エネルギーを活用するほか、将来の水素社会の実現に向けた燃料電池や食品廃棄物を活用したバイオガスシステムの導入に取り組みます。
- JR 東日本グループは、熱供給事業やエネルギーマネジメントのノウハウを有する東京ガスとともに、まちの省エネルギー・省 CO<sub>2</sub> 化を積極的に推進します。

### 品川開発プロジェクトにおける環境・エネルギー技術の導入概要

#### 太陽光・風力発電

##### 太陽熱

太陽光を集熱器で熱エネルギーに変換して、給湯用で利用



##### バイオガスシステム

まちから出た食品廃棄物を熱エネルギーに変換して、給湯用で利用

##### 燃料電池

水素と酸素を反応させて発電するとともに発生熱を地域冷暖房で利用

##### 地中熱

地中と外気との温度差を熱エネルギーに変換して、空調等で利用

##### 地域冷暖房

まちで必要となる冷水・温水を製造して供給

##### コージェネレーションシステム

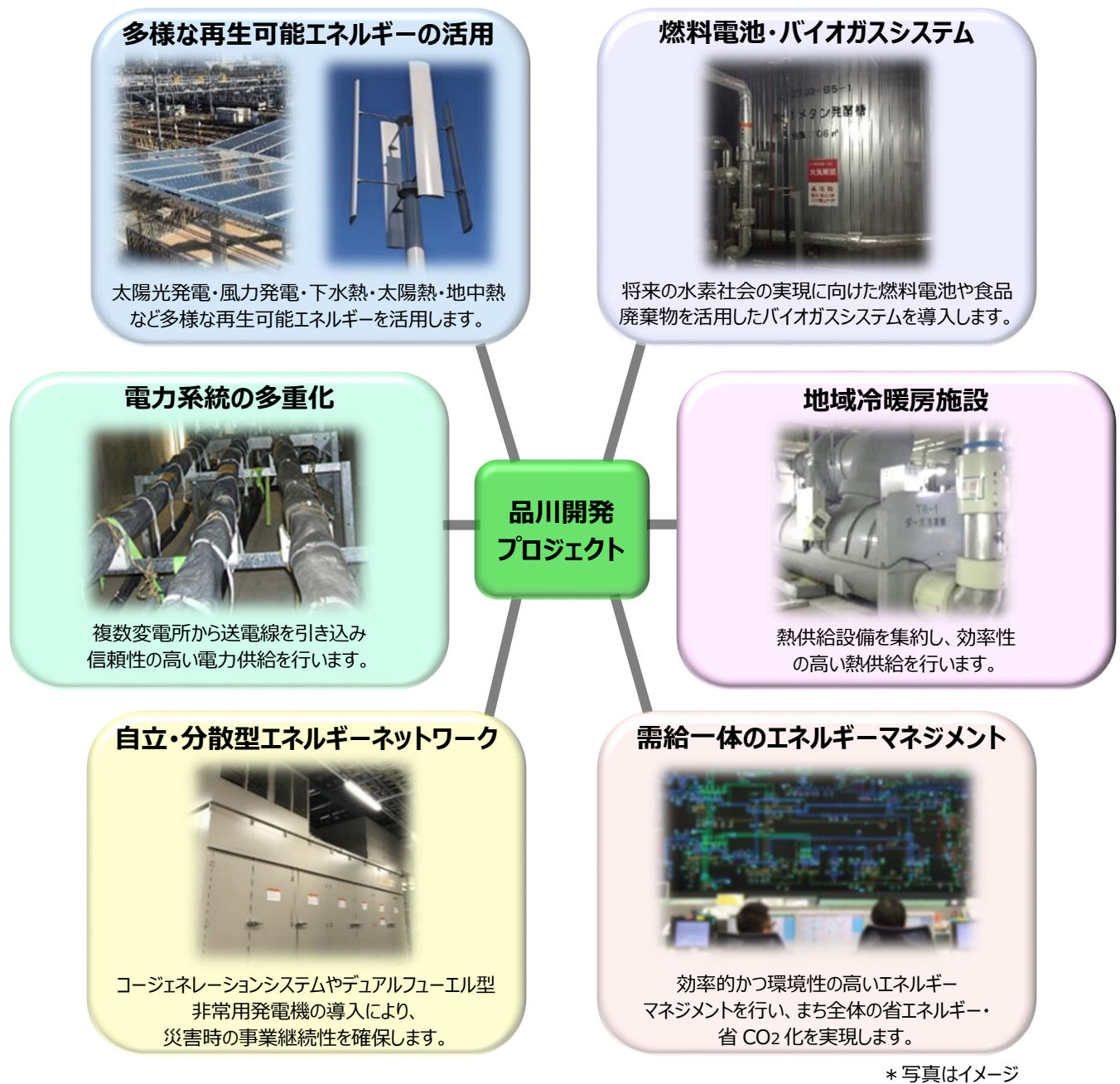
発電を行うとともに、発生する排熱を熱エネルギーに変換して、地域冷暖房で利用

##### 下水熱

まちに引き込む再生水と外気との温度差を熱エネルギーに変換して、地域冷暖房で利用

需給一体のエネルギーマネジメントの実現

## ○ 株式会社えきまちエナジークリエイトの取り組み概要



## ○ 会社概要

会社名	株式会社えきまちエナジークリエイト
本社所在地	東京都港区高輪二丁目
代表者	代表取締役社長 鈴木 孝子
設立日	2020年4月7日
資本金	4.95億円
出資比率	JR東日本 70% JEBL15% 東京ガス 15%

【参考】

品川開発プロジェクト（第Ⅰ期）概要

品川開発プロジェクト（第Ⅰ期）は、「グローバルゲートウェイ品川」をコンセプトに、2024年度のまちびらきを予定しています。

	1 街区	2 街区	3 街区	4 街区	全体
敷地面積	約 12,700 ㎡	約 8,000 ㎡	約 13,000 ㎡	約 38,300 ㎡	約 72,000 ㎡
延べ面積	約 149,000 ㎡	約 31,000 ㎡	約 211,000 ㎡	約 460,000 ㎡	約 851,000 ㎡
主要用途	住宅、教育施設等	文化創造施設等	オフィス、商業、 地域冷暖房施設等	オフィス、ホテル、 商業、コンベンション等	—
階数/最高高さ	地上 45 階、地下 3 階 約 173m	地上 6 階、地下 4 階 約 45m	地上 31 階、地下 5 階 約 167m	地上 30 階、地下 3 階 約 164m	—

※品川開発プロジェクト（第Ⅱ期）は、今後計画していきます。